

TOPPAN HALL

2023/24 SEASON



クールな男の

恐るべきヴィルトゥオジティ!

無伴奏—
イリア・グリンゴルツ

ILYA GRINGOLTS

Solo—

2.13 2024
[火]

19:00 開演 トッパンホール
Tuesday, 13 February 2024 19:00 TOPPAN HALL

全席指定 5,500円/U-25 2,500円

2/16公演とのセット券あり。詳細は中面をご覧ください。

主催: トッパンホール

特別協賛: 竹中工務店

イザイ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第1番 ト短調 Op.27-1
Ysaÿe: Sonate pour violon seul No.1 en sol mineur Op.27-1

シャリーノ: 6つのカプリース (1976)
Sciarrino: 6 Capricci per violino

エルンスト: 練習曲第1番/第4番
Ernst: Mehrstimmige Etüde für Violine solo Nr.1/ Nr.4

イザイ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第5番 ト長調 Op.27-5
Ysaÿe: Sonate pour violon seul No.5 en sol majeur Op.27-5

シャリーノ: 6つの新しいカプリース (2023/日本初演)
Sciarrino: 6 nuovi Capricci per violino (2023/Japan premiere)

ヴィトマン: ヴァイオリン独奏のためのエチュード第3番 (2002)
Widmann: Étude Nr.3 für Violine solo

エルンスト: 練習曲第6番《夏のなごりのばら(庭の千草)》
Ernst: Mehrstimmige Etüde für Violine solo Nr.6 "Letzte Rose"

異次元の無伴奏 — グリンゴルトツ 深化！そして新たな扉を叩く… — Trio Rizzle meets グリンゴルトツ

トッパンデビューから20年。もの静かで超クールゆえ、その圧倒的な真価がなかなか伝わらないのがなんとももどかしい異才、イリア・グリンゴルトツ。彼にその凄腕の極限を無伴奏で示してもらい、耳の肥えたトッパンのお客さまを唸らせたいと願って作った今回のプログラム。イザイの無伴奏が2曲、もしバガニーニが現代に生きていたらこんな作品を書いていたのでは？と、同じイタリア人のシャリーノが1970年代に書いた究極の無伴奏作品《6つのカプリース》と、その21世紀版としてグリンゴルトツのために作曲した続編の日本初演！さらには、トッパンではお馴染み、ヴィトマンの《エチュード第3番》。そして極めつきはエルンスト《6つのポリフォニック・エチュード》の中から、有名な《庭の千草変奏曲》を含む3曲。バガニーニの《カプリース》と、各時代の名ヴァイオリニストに触発された作曲家達が、19世紀から21世紀にわたって作曲した無伴奏超絶技巧作品のオンパレードだ。レコーディングでならいざ知らず、こんな偉業にライブで挑み、高度に耳の肥えた聴衆の前でステージに立つことをOKしてくれたグリンゴルトツには頭が下がるが、このクールなヴァイオリニストはきっと、様々な奏法を駆使して驚くようなパフォーマンスを披露してくれるに違いない。まさに、ヴァイオリンに興味のあるすべての方にお届けしたい必聴、魅惑のコンサートだ。

知らない曲や実演で聴く機会がほとんどない曲を、優れた演奏家による渾身の演奏で聴くという行為からは、珍しい本やお洒落な服を手に入れた時と同じような喜びを感じる。弦楽三重奏というジャンルは、そんな未聴の楽しみがまだまだ手に入る分野ではないかと思う。デュオや弦楽四重奏から生まれるサウンドは容易にイメージ出来ても、そこに1つ楽器が増えたり欠けたりするだけで生まれる響きの新鮮さとする種の緊張感。ある時はより複雑化し、別の瞬間には個が剥き出しになるおもしろさ…。次々に出現する様々な様相は、3人の奏者が達者で、音楽的に深く信頼しあっているという前提がなければ成立せず、ソリストィックな魅力とクアルテット級の精緻なアンサンブルのバランスが問われる楽しみがある。

今回 Trio Rizzle として演奏するのは、稀代のメロディーメーカーぶりが瑞々しい音楽へと昇華されるシューベルトと、バルトークやコダーイに師事し近年ヨーロッパで再評価著しいヴェレシュの2作品。いずれも実演で耳にする機会が少ないながら作品としての魅力をしっかり持つ作品だ。

プログラム後半は、毛利がかつて一緒に演奏し尊敬している異才、グリンゴルトツと共演する。グリンゴルトツも自身のクアルテットをはじめ、室内楽の経験は極めて豊富。知られざる秘曲の紹介に並々ならぬ意欲をみせる毛利が、「グリンゴルトツさんとご一緒する

ならプロコフィエフの2番の弦楽四重奏曲をぜひ弾きたい」と提案すると、快諾したグリンゴルトツは返す刀で「シルヴェストロフの第1番とのカップリングがお薦め」と逆提案してくれた。シルヴェストロフは、クレーメルやリュビモフ、サハロフらが西側に積極的に紹介しその名を広めてきたウクライナ出身の作曲家。なるほど確かにプロコフィエフの作品は、ロシアの演奏家と一緒に弾くことでその魅力が伝わるだろうし、シルヴェストロフは美しさの中に強靱な精神とひりひりするような痛みを伴うというこの作曲家ならではの魅力が詰まっていて一度聴くと忘れ難い魅力がある。一見、シューベルトと個性豊かで民族性も内包する3作品というプロだが、考えてみるとシューベルトもウィーンでしか生まれなかった音楽。まさに4つの地域の作曲家のセンスと英知が結集したプログラムといえよう。Trio Rizzleとグリンゴルトツの一期一会の共演で、新たな作品との出会いへのチャンスが開かれている本コンサート、ぜひグリンゴルトツの無伴奏とあわせてトッパンホールへお越しいただきたい。

プログラミング・ディレクター 西巻正史

2公演セット券

限定数販売 全席指定 クラブ同時入会可

料金 [通常価格 11,000円のところ]

トッパンホールクラブゴールド会員 8,360円

トッパンホールクラブレギュラー会員／一般 9,460円

単券

全席指定

日時	料金
イリア・グリンゴルトツ — 無伴奏 2024年2月13日(火) 19:00	一般：5,500円 U-25：2,500円
Trio Rizzle meets イリア・グリンゴルトツ 2024年2月16日(金) 19:00	

トッパンホールWEBチケット www.toppanhall.com

トッパンホールチケットセンター 03-5840-2222

チケットぴあ t.pia.jp

[Pコード 2/13公演 251-991 2/16公演 251-992]

イープラス eplus.jp

ローソンチケット l-tike.com

[Lコード 2/13公演 31702 2/16公演 32054]

会員優待割引およびセット券は、「トッパンホールWEBチケット」「トッパンホールチケットセンター」でお申し込み頂けます。
*U-25券(席の限定有)は、トッパンホールチケットセンターで販売いたします。*未就学児のご入場はお断りいたします。
*託児サービス【要予約・有料】:公演日1週間前までにイベント託児・マザーズ 0120-788-222
[10:00~12:00, 13:00~17:00(土日祝休み)]へお申し込みください。
*やむをえず、曲目・出演者などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。
*開場は開演の30分前となります。

交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
後楽園駅 地下鉄丸ノ内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
都営バス [上69][飯64]「大曲」または「東五軒町」下車徒歩約3分
※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

トッパンホール 〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515
www.toppanhall.com



人と自然をつなぐ、伝統と革新をつなぐ。

想いをかたちに 未来へつなぐ

TAKENAKA

竹中大工道具館(兵庫県神戸市)
設計施工:竹中工務店

株式会社竹中工務店 本社:〒541-0053 大阪府中央区本町4-1-13 Tel.06-6252-1201 / 東京本店:〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1 Tel.03-6810-5000

グリンゴルトツ写真©Kaupo Kikkas Trio Rizzle写真©藤本史昭
当チラシに掲載している写真について、許可なく複製あるいは転用することを固く禁じます。 ©TOPPAN HALL 2023.12 K II



イリア・グリンゴルトツ

Ilya Gringolts, violin

毛利 文香

Fumika Mohri, violin

田原 綾子

Ayako Tahara, viola

笹沼 樹

Tatsuki Sasanuma, violoncello